

おちゃわんリサイクルの会

東久留米市内

お問い合わせ 江波洋子 電話 042-473-8815

主な活動内容

2011年東久留米市の「おちゃわんリサイクルの会」は5人のメンバーから出発しました。割れた陶器をゴミに出すのではなく、もう一度使えないかという運動が西東京市で始まりました。西東京市は多治見市の窯元と消費者団体と話し合い、窯元に送ることが実現できました。陶器を壊して再生することは産地にとっても珍しいことではなくいろいろな原料の中の一つとして、自然に使用されています。現地多治見市では、粉碎された陶器は食器に再生されるほか、余れば耐火性のセメントにも使用されます。リサイクルされた製品がまたリサイクルされても問題なく、むしろ製品として強くなり焼成温度が低くて済むメリットがあります。(温室ガス排出 33%減量) 学校給食の強化 食器も作っています。



製造工程

- ① 原料調合・・・珪石、カリオン、長石、粘土を使用
- ② 粉碎・調合・・・トロメロを使用して粉碎・調合
(ここで私たちが出した食器類を投入)
- ③ 攪拌(泥)・・・攪拌して泥状態にする
- ④ 搾土・・・・・・フィルタープレスで脱水
- ⑤ 土練・・・・・・粘土中の空気を抜き。成形に適した柔らかさに練る



送られて困るもの

土鍋 底にガラスが入っているため

花瓶 ガラスが混入しているものが多い

素焼き 釉薬がないと土が不純物を吸ってしまう

＊もしこれらの物が混入していると職員が取り除かねばなりません